

令和4年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、市長と教育委員会で共有する「北九州市教育大綱」の方向性に沿って、SDG sの視点を踏まえたシビックプライドの醸成等を目指し、市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組を推進していきます。

また「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、一体となって取組を進めるとともに、家庭、地域、関係機関等と連携しながら各種施策を着実に推進します。

令和4年度は、新しい時代の質の高い教育の実現と、安全・安心な教育環境を確保するため、①G I G Aスクール構想の着実な推進、②SDG s達成のための次世代型教育の推進、③SNS等を活用した相談体制の整備等に取り組み、子どもたちの学びを着実に進めていきます。同時に、「学校における業務改善プログラム（第2版）」を着実に推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた不断の取組を進めます。

I 時代を切り拓く力の育成

- 1 子どもひまわり学習塾事業
- 2 学校における読書活動の推進
- 3 外国語教育の推進
- 4 Kitakyushu Global Gateway体験学習事業
- 5 SDG s教育推進事業
- 6 小中一貫教育推進事業
- 7 児童う歯予防対策
- 8 小池特別支援学校整備事業
- 9 小倉総合特別支援学校整備事業
- 10 医療的ケア児支援北九州方式構築モデル事業
- 11 スクールバス運行委託事業（コロナウイルス対策増車・令和4年度）

II 働きがいのある学校づくり

- 12 ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業
- 13 学校支援のための講師等配置事業
- 14 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置事業
- 15 部活動指導員の配置

III 安心な学びの場づくり

- 16 不登校等総合支援事業
- 17 SDG s達成のための次世代型教育推進事業
- 18 SNS相談事業
- 19 「チーム学校」運営・推進事業
- 20 感染症対策のための衛生環境整備事業

IV 市民総ぐるみでの支援

- 21 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業
- 22 子どもひまわり学習塾事業
- 23 公立夜間中学校設置検討事業

V 未来を見据えた環境整備

- 24 ICT活用支援事業
- 25 G I G Aスクール構想関係経費
- 26 幼児教育の質の向上に向けた推進事業
- 27 学校施設老朽化対策事業
- 28 学校トイレ整備事業
- 29 北九州市立高等学校の魅力向上推進事業

VI 図書館に関する事業

- 30 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

教育委員会総務部総務課

担当（田中・床田） Tel : 582-2352

※ 個別の事業の内容については、各担当課へお尋ねください。（P8参照）

I 時代を切り拓く力の育成

1 子どもひまわり学習塾事業

89,250 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施する。

2 学校における読書活動の推進

384,347 千円

(他に債務負担 140 千円)

「北九州市子ども読書活動推進条例」及び「北九州市子ども読書プラン」に基づき、すべての子どもが楽しく自主的に読書活動を行うことができる環境を整える。また、学校図書館職員を全中学校区及び特別支援学校に継続して配置し、学校における読書活動を推進する。その際、「子ども図書館」が拠点となり、学校と市立図書館との連携を強化する。

3 外国語教育の推進

407,071 千円

(他に債務負担 234,400 千円)

外国語教育を通じて、他者とのコミュニケーション能力の素地や基礎を養うため、ALT の効果的な配置等を行う。

小学校においては、英語に堪能で専門的な知識を有した日本人の指導助手（日本人 ALT）を配置するほか、「話すこと」の力を育むため、一部の学校で試行的にオンライン英会話学習を実施する。

中学校においては、イングリッシュコンテスト等を開催することにより、自ら発信し、世界で活躍、貢献できるコミュニケーション能力を育成する。

4 新 Kitakyushu Global Gateway 体験学習事業

82,000 千円

英語学習意欲の向上のきっかけとするため、市立小・中・特別支援学校の児童生徒が、令和4年春にオープンする体験型英語教育施設「Kitakyushu Global Gateway」を体験できるよう支援する。

5 SDGs 教育推進事業

6,580 千円

SDGs 推進校を指定し、特色ある取組及び実践研究を行うとともに、その成果等をとりまとめて全市に発信し、SDGs の視点を踏まえた教育を拡大・充実する。

また、新学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシンビクプライドの醸成を図るため、引き続き SDGs の視点を踏まえた地域教材を作成し、教科等の学習で活用する。

6 小中一貫教育推進事業

1,000 千円

本市の義務教育9年間を通じた教育活動を充実させ、これまでの小中一貫・連携教育をさらに推進するため、令和3年8月に改訂した「北九州市小中一貫・連携教育基本方針」を踏まえ、モデル校での実践や先行事例の研究を実施する。

7 児童う歯予防対策 **拡充**

39,700 千円

本市におけるう歯（むし歯）のない児童生徒の割合が、政令市の中でも最下位といった状況を踏まえ、従来実施していた「フッ化物塗布」に、新たに「フッ化物洗口」を実施し、う歯予防対策を強化する。

8 小池特別支援学校整備事業

605,300 千円

(他に債務負担 521,900 千円)

西部地域における知的障害児の増加への対応及び老朽化した校舎・運動場の狭あい化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の校舎の一部解体工事を引き続き実施するとともに、第2期建築工事及び既存校舎の大規模改修工事に着手する。

9 小倉総合特別支援学校整備事業

10,900 千円

小倉総合特別支援学校児童生徒の教育環境の充実を図るため、保健福祉局が実施する小倉総合特別支援学校A棟解体工事後の、B棟開口部の閉塞工事を実施する。

10 **新**医療的ケア児支援北九州方式構築モデル事業

11,900 千円

医療的ケア児支援法の施行（令和3年9月）を踏まえ、児童生徒本人、保護者及び教職員が安心して学校生活を送れるようにするとともに、保護者の負担軽減を図るため、医療機関との連携強化並びに学校生活における環境整備を行うためのコーディネーターや、特別支援学校配置看護師を増員配置し、市内の学校に通う医療的ケア児の支援体制を構築する。

11 スクールバス運行委託事業（コロナウイルス対策増車・令和4年度）

157,800 千円

感染リスクの低減を図るため、特別支援学校のスクールバスを増車し、児童生徒の座席の間隔を空けて運行する。

Ⅱ 働きがいのある学校づくり

12 ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業

2,000 千円

教育の情報化の加速及び教育DXを見据え、研修や実践を通してICTを活用した指導力の育成を図っていく。また、オンライン型研修を充実させ、キャリアステージに応じた研修を体系的に整備し、すべての教員の資質・能力の向上を図る。

13 学校支援のための講師等配置事業

490,507 千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師等を配置する。

14 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置事業 **拡充**

298,857 千円

学校現場における業務改善の一環として、教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するため、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置拡充を行う。

15 部活動指導員の配置 **拡充**

22,000 千円

教員の負担軽減と部活動の振興を図るため、顧問教員に代わって単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」の配置時間や、週末の活動を地域へ委託する「地域部活動」を拡充するなど、部活動の環境整備を実施する。

<部活動指導員 28名の活動時間を拡充>

Ⅲ 安心な学びの場づくり

16 **新**不登校等総合支援事業 ～不登校等支援センター設置事業～

12,100 千円

不登校児童生徒の社会的自立に向けて、子ども・保護者・教員等に寄り添った支援や関係機関との連携強化を図るため、「不登校等支援センター」を新たに設置する。

17 SDGs達成のための次世代型教育推進事業

2,800千円

SDGs達成のための視点に基づく「誰一人取り残さない集団と個を意識した子どもへのアプローチ」として学習面・社会面・身体面の3方面のコグトレ（認知トレーニング）を推進することで、教師の子ども理解を深め、個に応じた指導、授業改善につなげる。また、コグトレを通して、子どもが自己の学び方・考え方を意識することで、さらなる成長を促す。

18 新 SNS相談事業

15,300千円

いじめを含む様々な悩みを抱える児童生徒に対して、SNSを活用した相談体制を構築し、知識や経験を有する専門家が対応することで、児童生徒の悩み、不安の解消を図る。

19 「チーム学校」運営・推進事業

【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止】

80,400千円

長期欠席（不登校）の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置する。

【スクールソーシャルワーカー活用事業の充実】

88,700千円

貧困や虐待・不登校等への対応などを含め、児童生徒の問題行動の背景にある家庭等の問題に対して、関係機関との連携を図りながら支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを配置する。

【スクールロイヤーの活用】

3,300千円

生徒指導上の諸課題等に対する相談対応や学校に出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図ることで、子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境を整える。

20 感染症対策のための衛生環境整備事業

26,600千円

各学校において基本的な感染症対策を更に強化、徹底する上で継続的に必要となる手洗い用石けんや手指用消毒液の追加購入を行い、感染症拡大防止を図る。

IV 市民総ぐるみでの支援

21 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業

48,900 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進める。

22 子どもひまわり学習塾事業

89,250 千円

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施する。

23 新 公立夜間中学校設置検討事業

1,000 千円

令和3年度に実施したニーズ調査の結果を踏まえ、全国の先行事例と本市の状況を研究し、関係者を集めた会議を開催する等、今後の方向性を検討する。

V 未来を見据えた環境整備

24 ICT活用支援事業

102,800 千円

(他に債務負担7,600千円)

既存のICT活用支援事業をベースとして、学校ネットワークの点検・応急対応、1人1台端末の家庭への持ち帰り時の運用支援を強化し、GIGAスクール運営支援センターを新たに設置することで、より安定的な支援基盤の構築を目指す。

25 GIGAスクール構想関係経費

42,000 千円

GIGAスクール構想の実現に伴う関係経費として、校内通信ネットワーク等の通信経費のほか、教科書や資料などの著作物をオンライン授業で配信するため、新たに著作者のワンストップ団体(SARTRAS)への補償料支払を実施する。

26 新 幼児教育の質の向上に向けた推進事業

2,900 千円

本市の幼児教育水準の向上を図るため、令和5年度に設置予定の「(仮称) 幼児教育センター」の体制等を検討する。

27 学校施設老朽化対策事業

834,900 千円

※令和3年度2月補正予算(3,684,000千円)と合わせて、4,518,900千円の事業費を計上

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修(長寿命化改修)及び外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施する。

28 学校トイレ整備事業 **拡充**

551,000 千円

児童生徒が利用する学校トイレの洋式化を推進するため、計画的に改修工事を実施する。

29 **新**北九州市立高等学校の魅力向上推進事業

4,000 千円

令和3年度に策定した「北九州市における後期中等教育機関の今後の方針について」に基づき、北九州市立高等学校の教育内容の更なる充実を図るため、学科構成の変更など、今後の在り方について検討する。

VI 図書館に関する事業

30 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

6,100 千円

折尾地区総合整備事業により仮移転中の折尾分館について、新施設整備完了後に本移転し、新施設での図書館業務を開始する。

教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策(事業)名	主担当課
1	子どもひまわり学習塾事業	授業づくり支援企画課 (641-4666)
2	学校における読書活動の推進	学校経営・教育指導課 (582-2368) 子ども図書館(571-0011)
3	外国語教育の推進	学校経営・教育指導課 (582-2368)
4	Kitakyushu Global Gateway 体験学習事業	学校経営・教育指導課 (582-2368)
5	SDGs教育推進事業	学校経営・教育指導課 (582-2368)
6	小中一貫教育推進事業	企画調整課 (582-2357) 指導企画課 (582-2367)
7	児童う歯予防対策	学校保健課 (582-2381)
8	小池特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
9	小倉総合特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
10	医療的ケア児支援北九州方式構築モデル事業	特別支援教育課 (582-3448)
11	スクールバス運行委託事業 (コロナウイルス対策増車・令和4年度)	学事課 (582-2378)
12	ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業	教育センター (641-1775)
13	学校支援のための講師等配置事業	教職員課 (582-2372)
14	教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の配置事業	教職員課 (582-2372)
15	部活動指導員の配置	生徒指導・教育相談課 (582-2369)
16	不登校等総合支援事業	指導企画課 (582-2367)
17	SDGs達成のための次世代型教育推進事業	教育センター (641-1775)
18	SNS相談事業	生徒指導・教育相談課 (582-2369)
19	「チーム学校」運営・推進事業	生徒指導・教育相談課 (582-2369)
20	感染症対策のための衛生環境整備事業	学校保健課 (582-2381)
21	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業	学校経営・教育指導課 (582-2368)
22	子どもひまわり学習塾事業	授業づくり支援企画課 (641-4666)
23	公立夜間中学校設置検討事業	企画調整課 (582-2357)
24	ICT活用支援事業	教育情報化推進課 (582-3445)
25	GIGAスクール構想関係経費	教育情報化推進課 (582-3445)
26	幼児教育の質の向上に向けた推進事業	学校経営・教育指導課 (582-2368)
27	学校施設老朽化対策事業	施設課 (582-2361)
28	学校トイレ整備事業	施設課 (582-2361)
29	北九州市立高等学校の魅力向上推進事業	指導企画課 (582-2367)
30	八幡図書館折尾分館運営・移転事業	中央図書館庶務課((571-1481)